

絹ヶ丘一丁目自治会

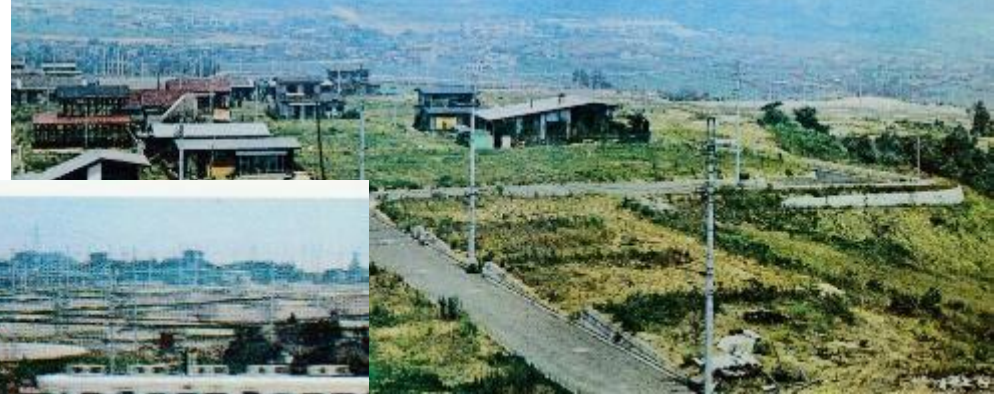
「絹一ふれあいネットワーク」

の取り組み

八王子市絹ヶ丘一丁目自治会
絹一ふれあいネットワーク

絹ヶ丘一丁目自治会について

昭和40年代に
1戸建て住宅として
丘陵地に造成された団地



絹ヶ丘一丁目自治会について

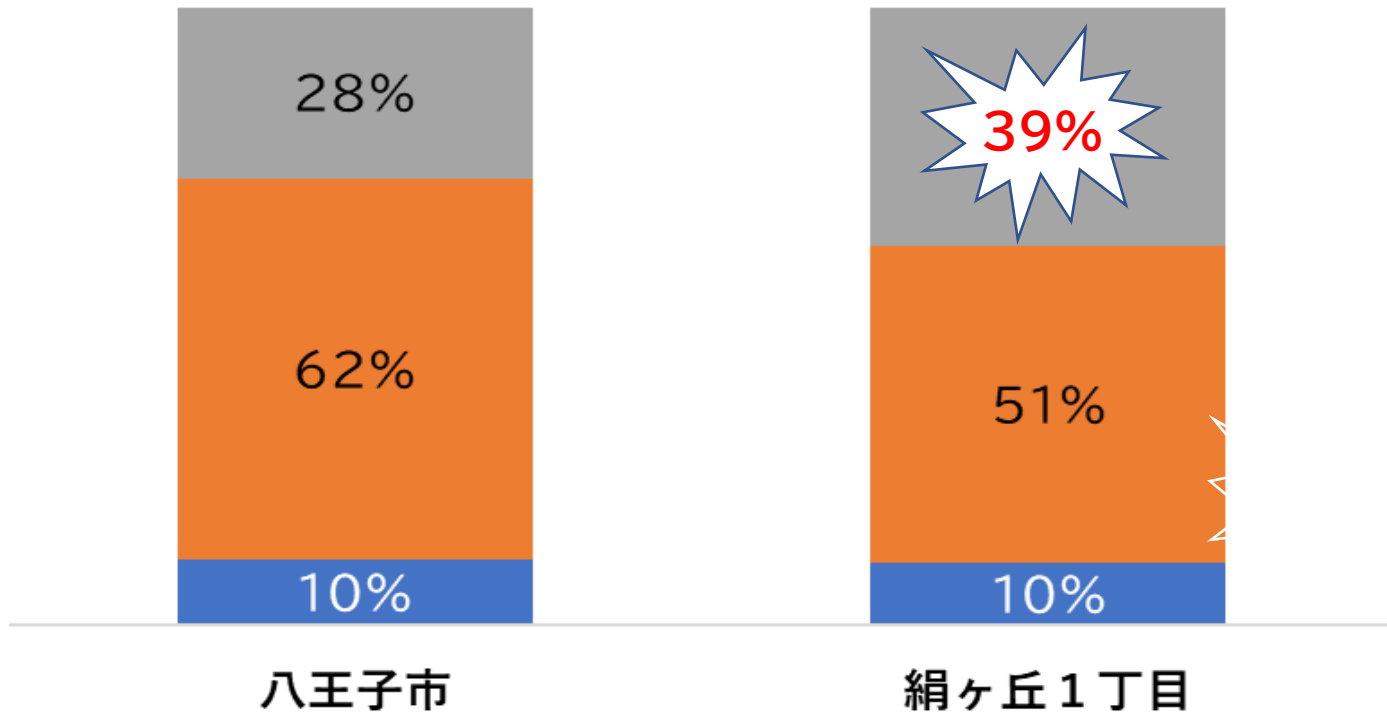
それから半世紀



絹ヶ丘一丁目の人口構成

年齢構成比較

■ 0歳～14歳人口 ■ 15歳～64歳人口 ■ 65歳～人口



絹ヶ丘一丁目自治会について

会員数:1600人

世帯数:700世帯

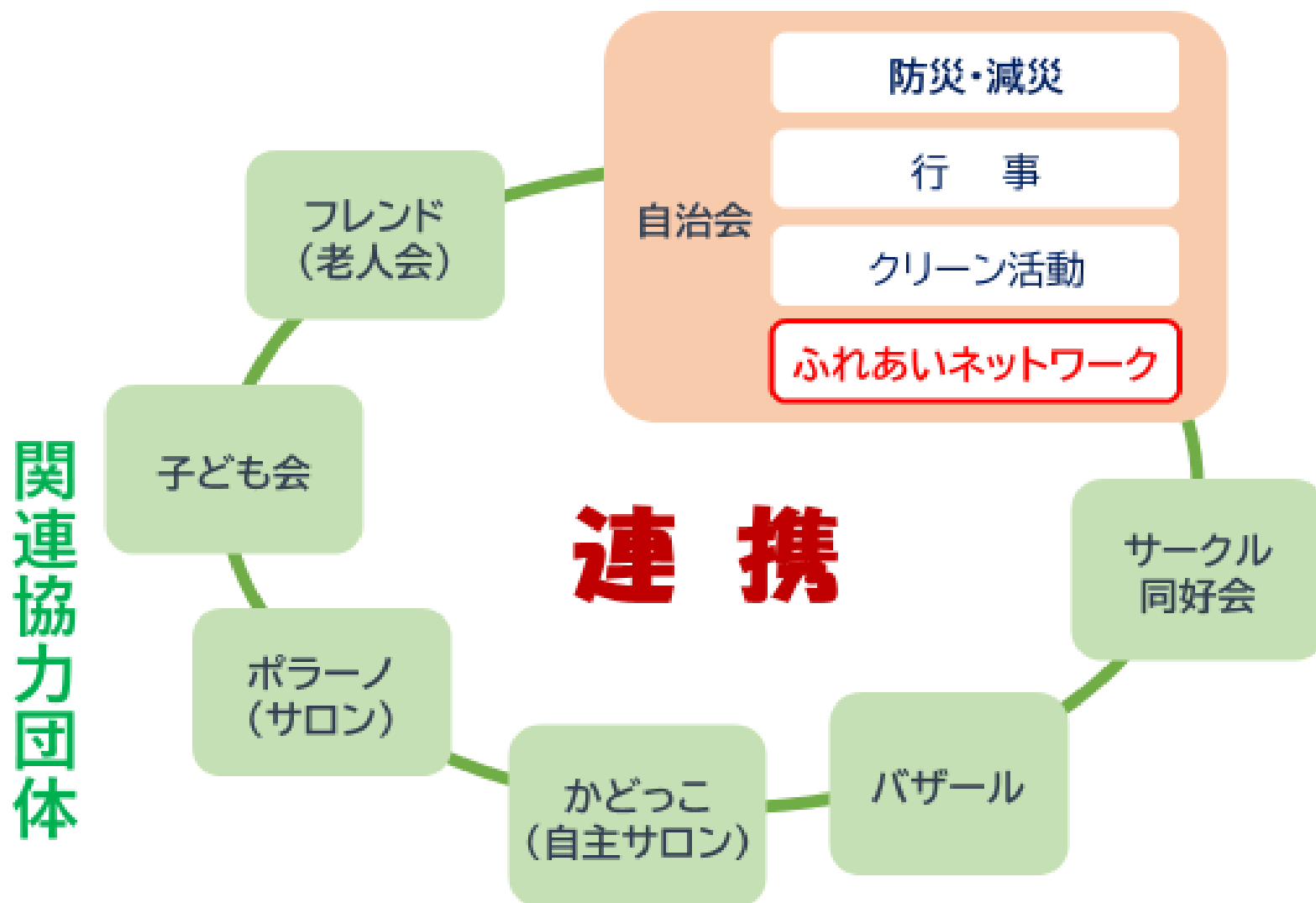
高齢化率:39%

1人世帯数:100世帯以上

超高齢化と坂道の町



絹ヶ丘一丁目自治会について



ふれあいネットワーク設立の経過

平成23年(2011年)～重要課題の抽出



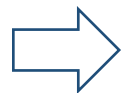
高齢化対策

平成24年(2012年)～高齢化対策内容の決定



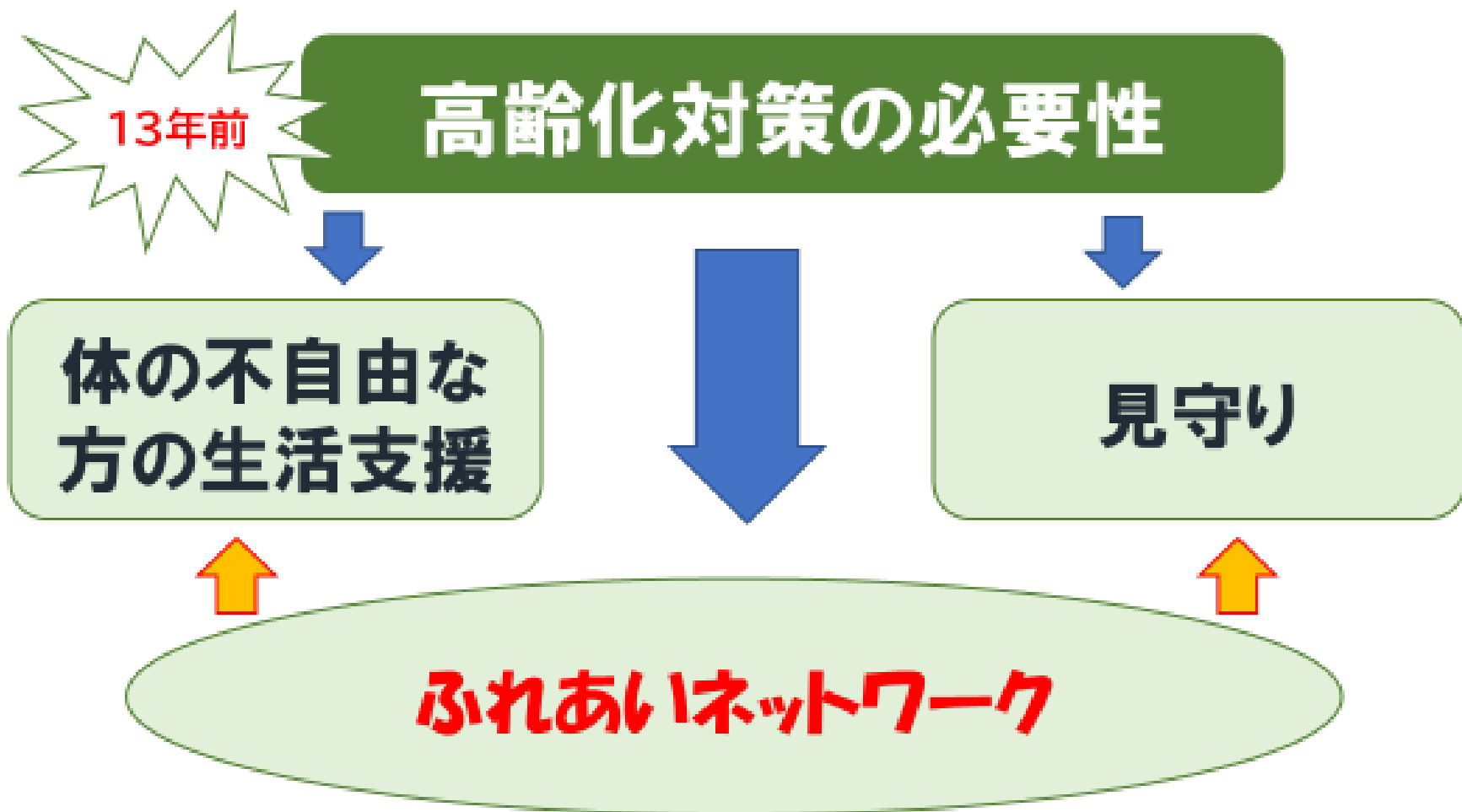
「助け合いによる支援組織」

平成25年(2013年)～支援組織の具体化



「絹ーふれあいネットワーク」

ふれあいネットワーク設立の経過



助け合いによる支援組織の設置

住民の意識・
要望を知る

- アンケート調査の実施

活動の仕方
を学ぶ

- 近隣組織の活動を調査
- 小地域福祉団体情報交換会への参加

行政からの
情報入手

- 市、社会福祉協議会の情報入手
- 地域包括支援センターの情報入手

経済的支援
を得る

- 社会福祉協議会
地域ささえあい事業からの助成

ふれあいネットワークの設立

名称

「絹一ふれあいネットワーク」

目的

ちょっと手を借りたいこと
・困ったことのお手伝い

料金

1人、1時間、300円

実行委員会

コーディネーター

ボランティア

全自治会員

実行委員・スタッフの決定

実行委員会の設置

8人(現在、7人)

理事 + コーディネーター + 民生・児童委員などから

コーディネーターの選定

7人(現在、6人)

会員から公募

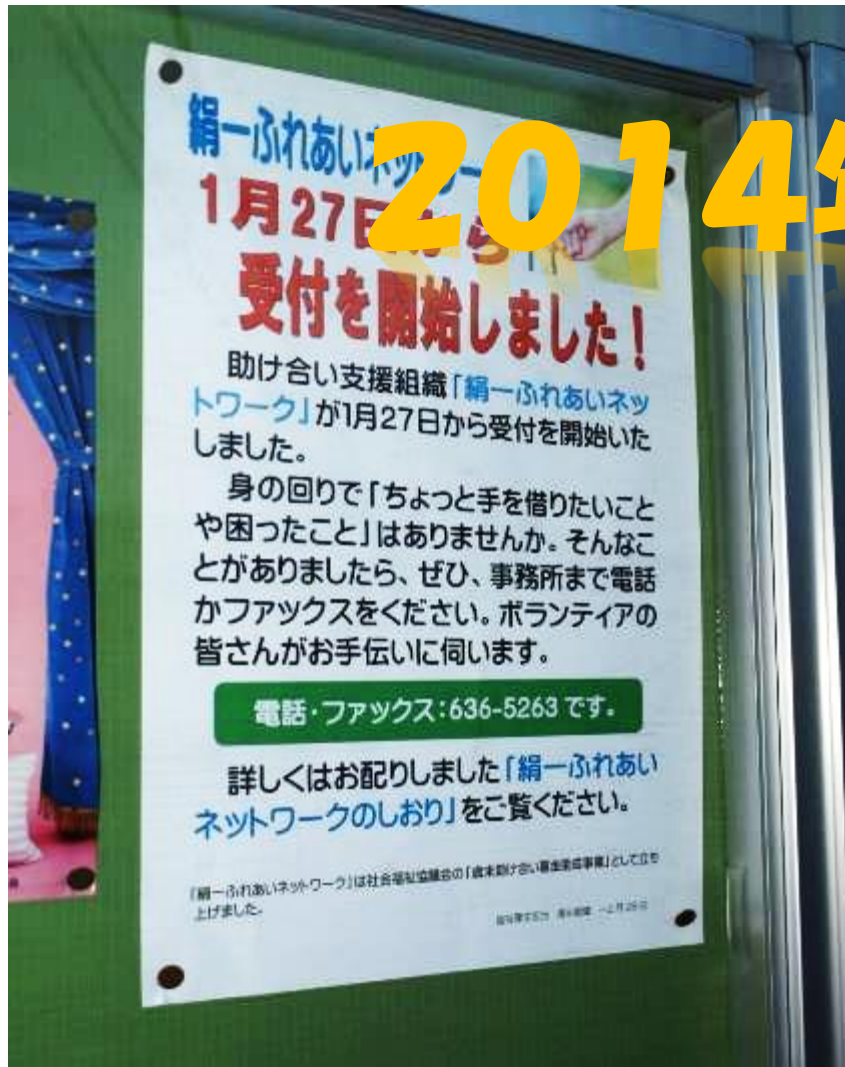
ボランティアと お手伝い内容の登録

35人(現在、42人)

お手伝いの種類:15種

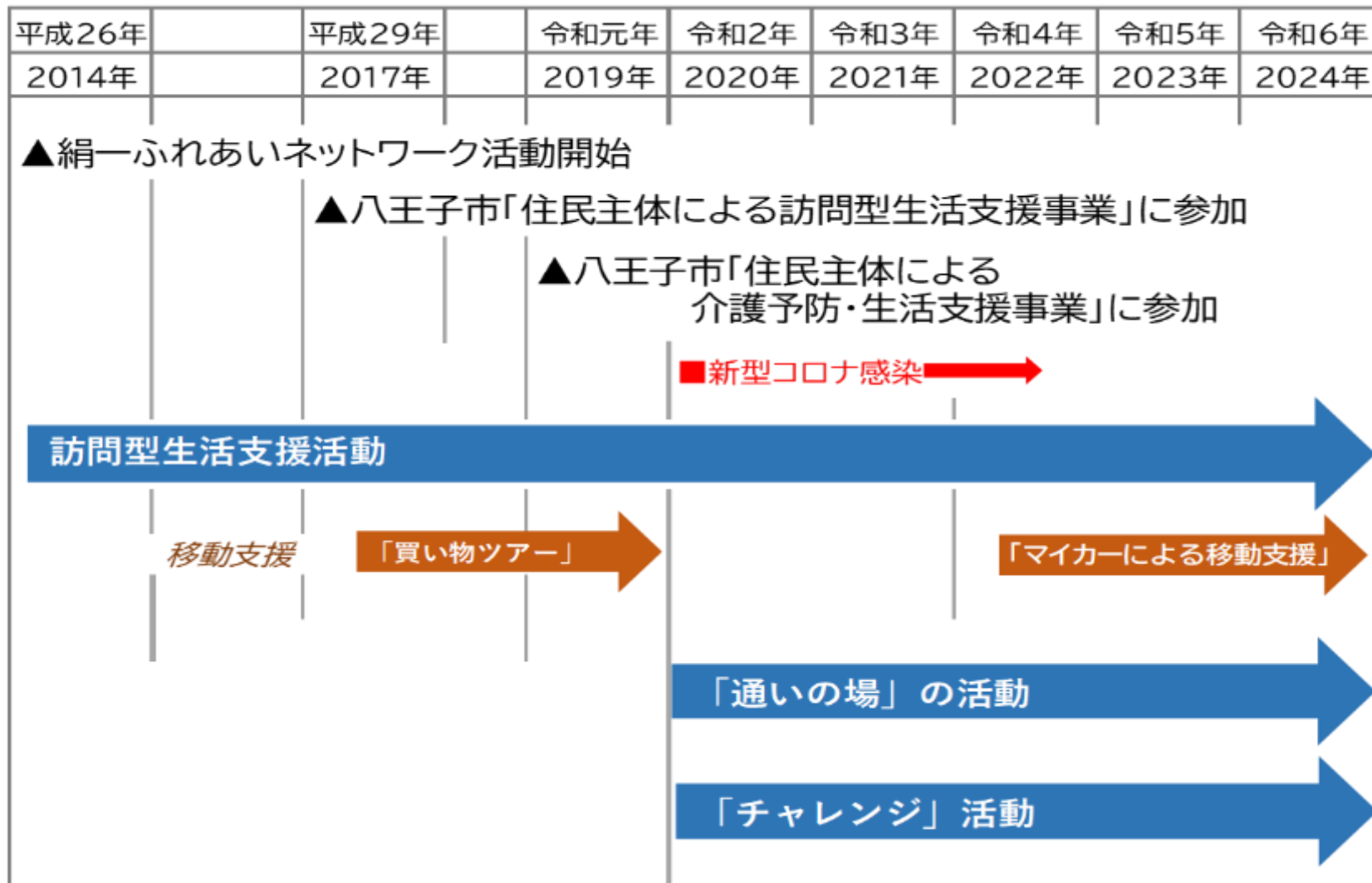
会員から公募、併せてお手伝いの種類別に登録

ふれあいネットワーク 活動スタート



2014年1月27日

設立から現在までの活動推移

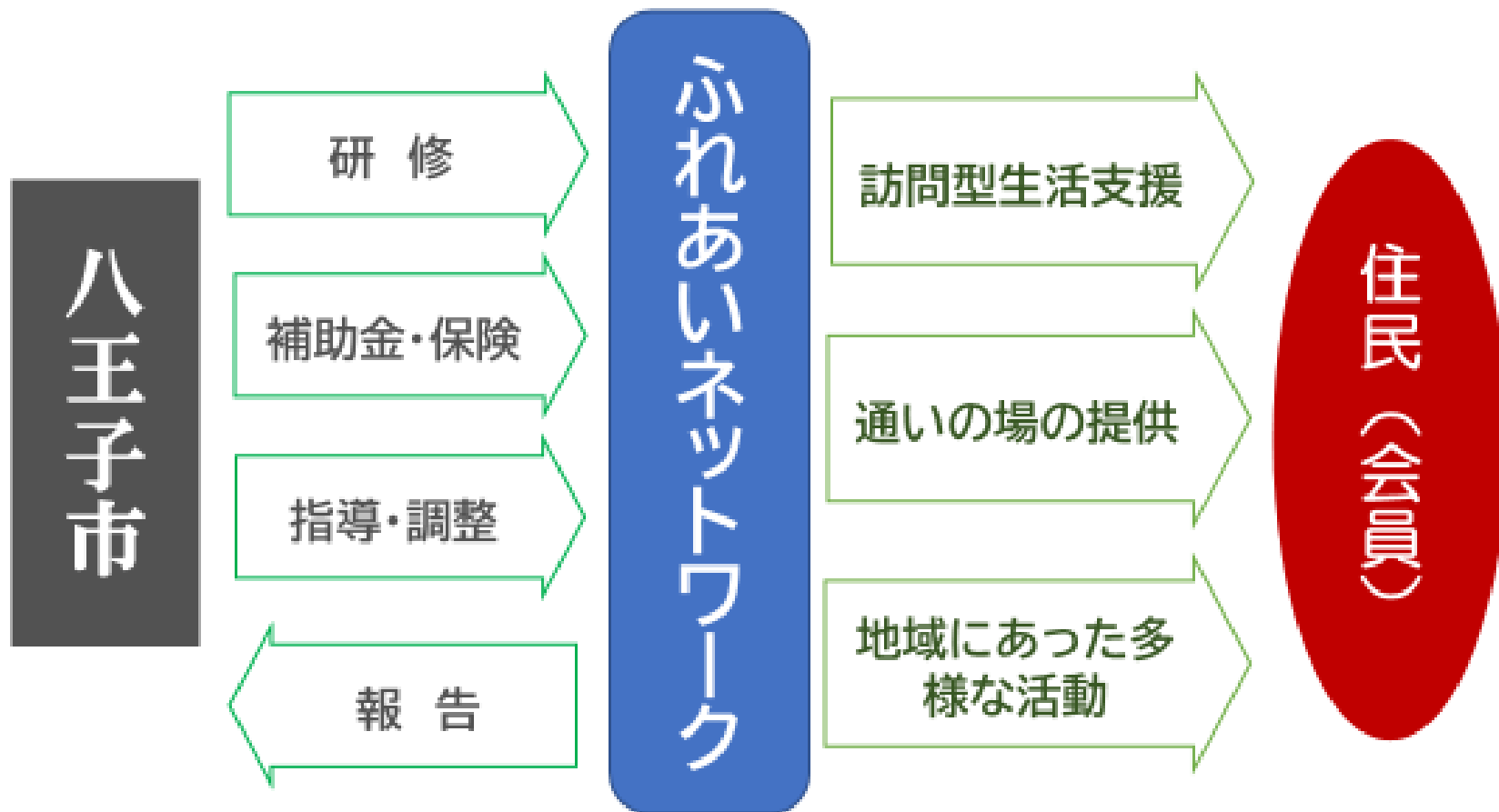


八王子市の「住民主体による介護予防 ・生活支援サービス事業」への参加

平成31年度(2019年)スタート

住民ボランティア・・・などの地域住民
が主体になり、・・・・・・住民主体
サービスを提供することで、・・・・・・
高齢者自らも住民主体サービスの提供者
となることで**介護予防を促進し**、地域主
体による自助・互助の充実を図る。

八王子市の「住民主体による介護予防・生活支援サービス事業」への参加



八王子市の「住民主体による介護予防 ・生活支援サービス事業」への参加

事業の支援形態と補助金

支援形態	私たちの活動内容	市からの補助金
訪問型生活支援	訪問型生活支援(ちょっとしたお手伝い)	3万円/月 加算金あり
車両を利用した生活支援	マイカーによる移動支援	5000~2万円/月
通いの場の提供	通いの場・かどっこ	1万円/月
地域にあった多様な活動	「絹一とその周辺の歴史・文化探訪マップ」作成・発行	1万円/月

ふれあいネットワークの活動内容



お手伝いの活動



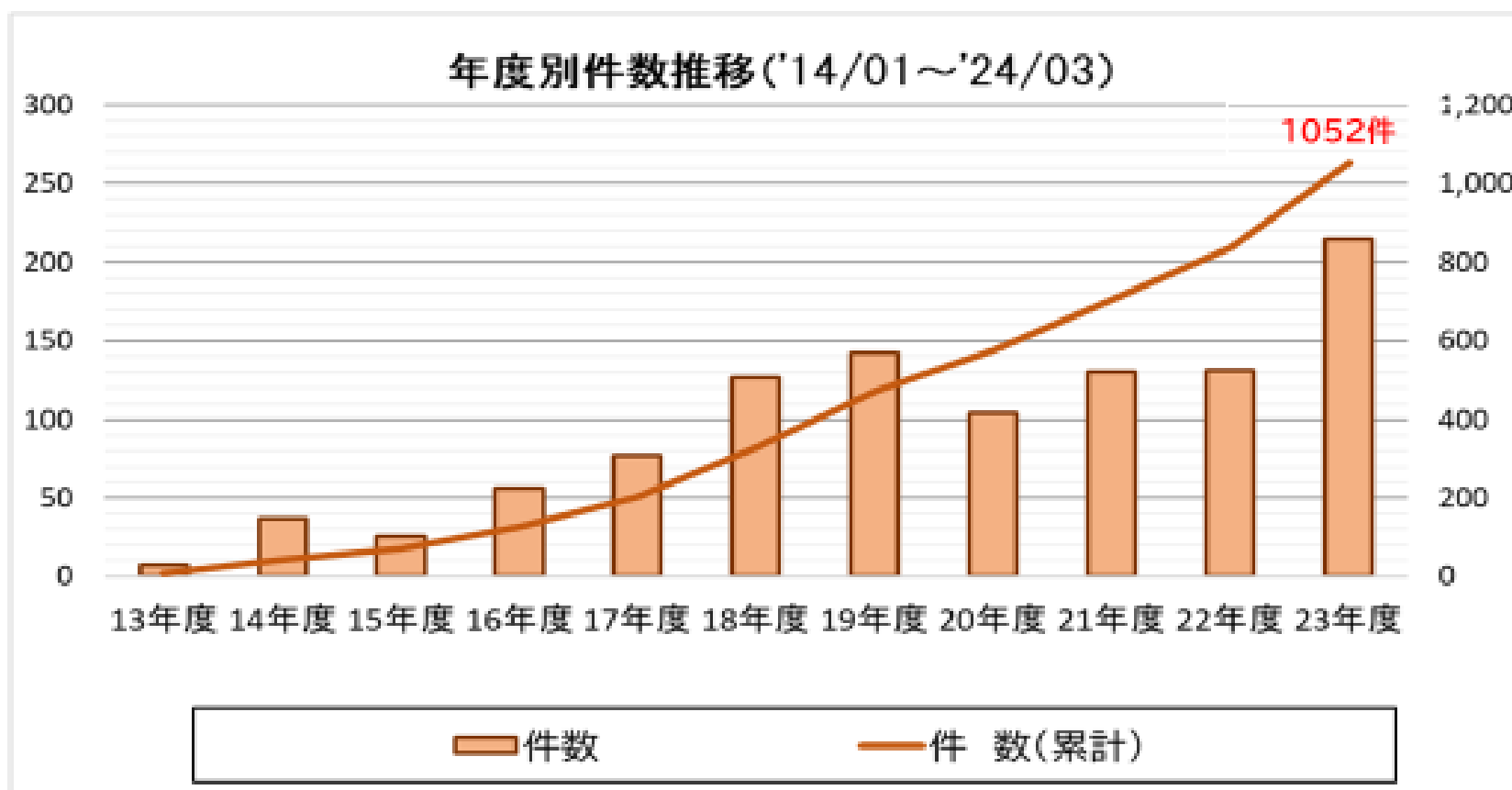
ふれあいネットワーク活動実績

(2014. 1~2024. 3)

お手伝いの実施結果のまとめ

項目	実績('14/01~'24/03)	
件数	1,052	(件)
利用した人数	1,253	(人)
掛かった時間	2,791	(時間)
携わったボランティア数	1,582	(人)
1件に掛かった時間	2.7	(時間/件)
1件に携わったボランティア数	1.5	(人/件)
ボランティア1人に掛かった時間	1.8	(時間/人)

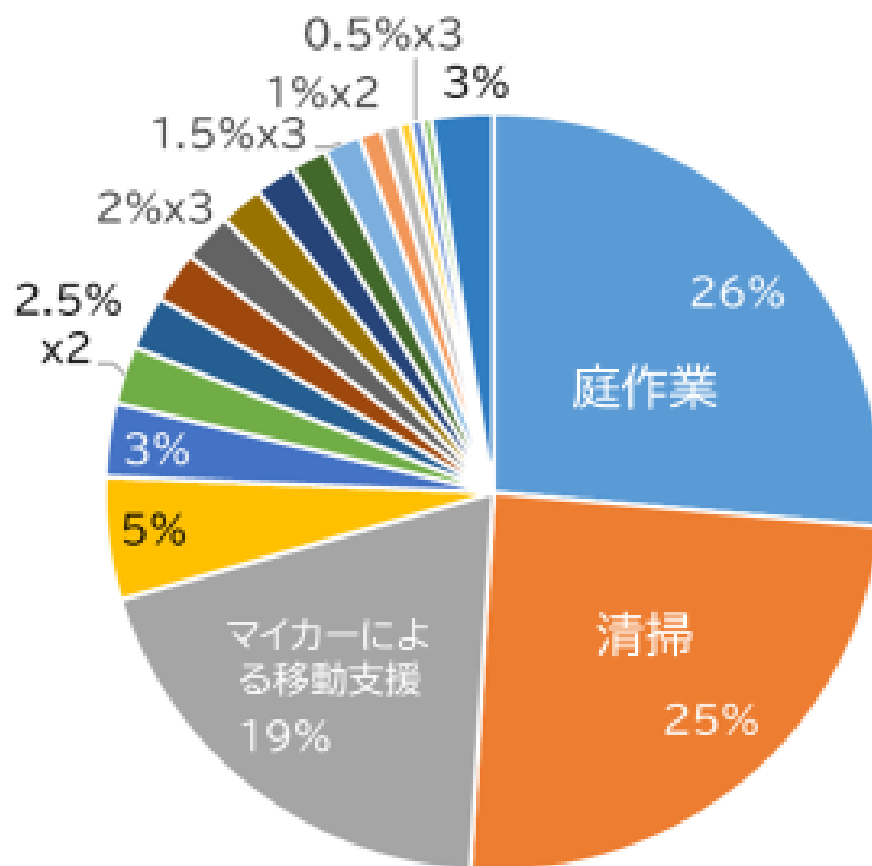
ふれあいネットワーク活動実績 (2014.1~2024.4) お手伝いの月別件数推移



ふれあいネットワーク活動実績

お手伝いの内容(総件数:1,052件)

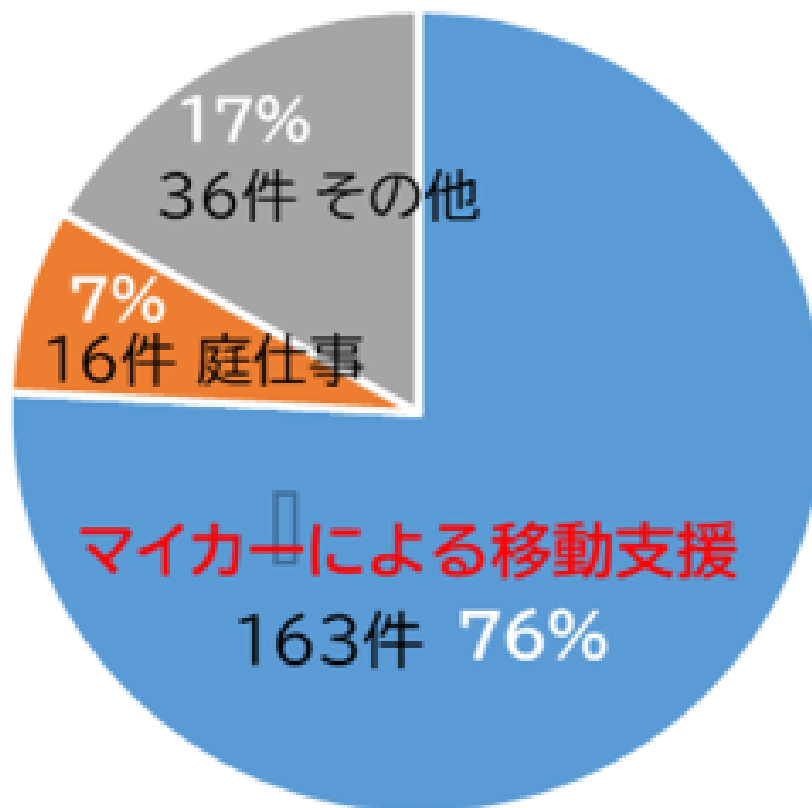
お手伝いの内容	件数	
	件数	%
庭作業	278	26.4%
清掃	258	24.5%
マイカーによる移動支援	205	19.5%
裁縫	55	5.2%
散髪	33	3.1%
簡単な電気仕事	26	2.5%
大工仕事	24	2.3%
パソコン関係	23	2.2%
買物	22	2.1%
リホーム・修理	19	1.8%
家具の移動	18	1.7%
買い物ツアー	16	1.5%
付添い	16	1.5%
水道関係	10	1.0%
包丁研ぎ	8	0.8%
改造	5	0.5%
確定申告の手続き	5	0.5%
製本補助	4	0.4%
1~3件のお手伝い15種	27	2.6%
合計	1052	100.0%



ふれあいネットワーク活動実績

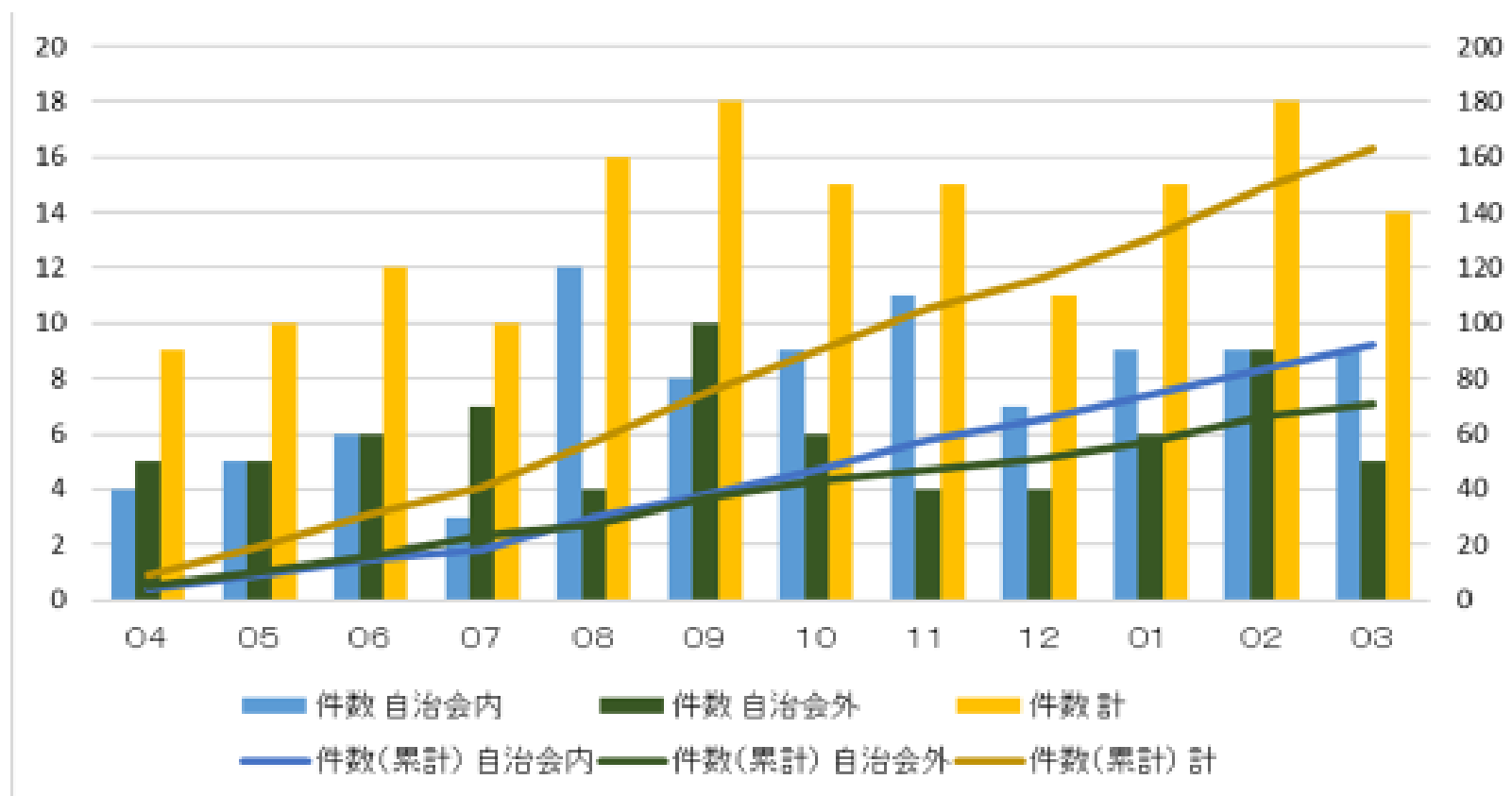
(2023. 4~2024. 3)

マイカーによる移動支援の占める割合



ふれあいネットワーク活動実績 (2023. 4~2024. 3)

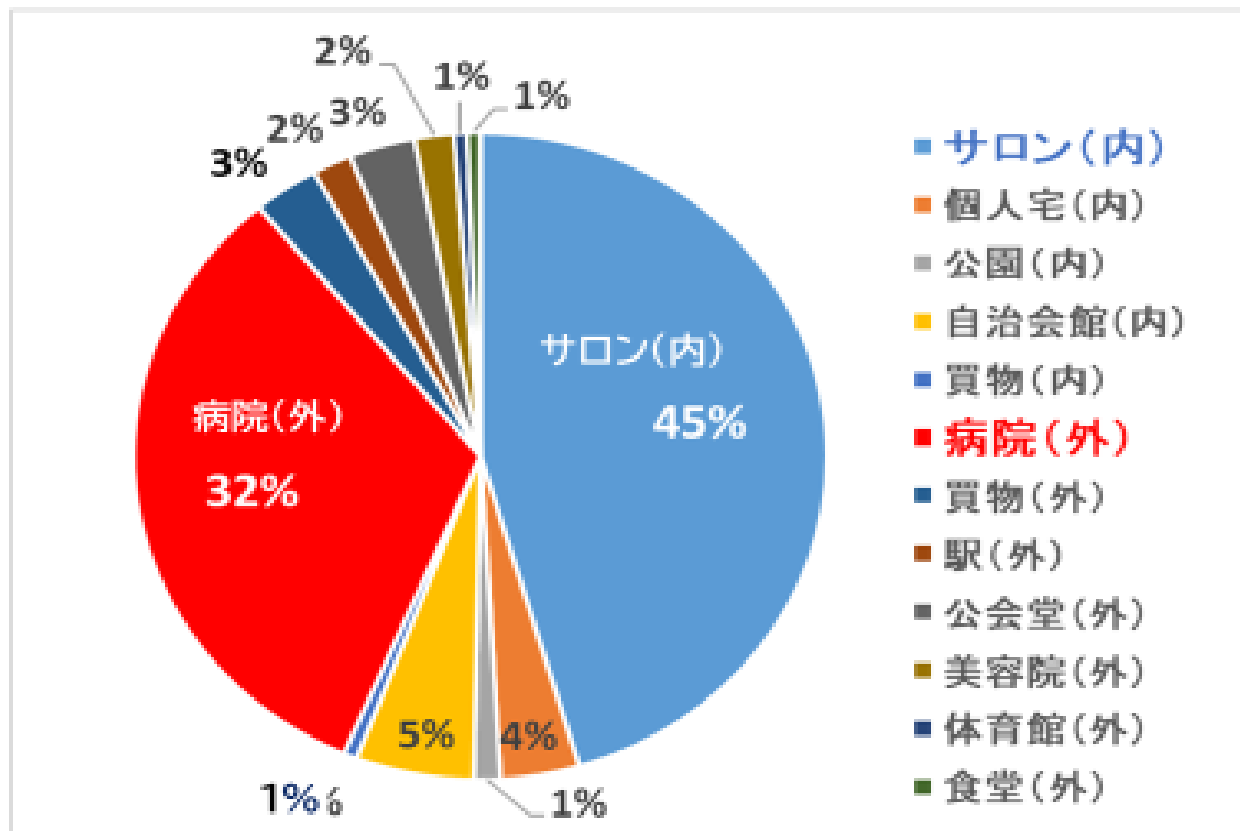
マイカーによる移動支援件数推移



ふれあいネットワーク活動実績

(2023. 4~2024. 3)

マイカーによる移動支援の内容



福祉関係講習会の開催



2016年「エンディングノートを活用しよう！」



2019年「介護用品を知って、上手に生かそう！」



2024年:「災害時に役立つ料理教室」

福祉関係講習会の開催

【これまでの実施内容】

第1回講習会(2014年):「認知症について学ぼう」

第2回講習会(2015年):「家庭内の事故を防ごう！」

～ケガのない生活をするために～

第3回講習会(2016年):「これから残りの人生を

どう生きるか」エンディングノートを活用しよう！

第4回講習会(2018年):「薬を上手に使って楽しい暮らし」

第5回講習会(2019年):「介護用品を知って、

上手に生かそう！」

第6回講習会(2019年):「在宅医療について

考えてみませんか」

第7回講習会(2020年):「災害時に役立つ料理教室」

(コロナのため中止)

第8回講習会(2024年):「災害時に役立つ料理教室」

「通いの場」とサロンとの連携

ふれあいネットワークは、2020年からこの活動に参加した。具体的には、自主サロン「かどっこ」と協賛で「通いの場・かどっこ」として、毎月第3水曜日開催、適宜、市の補助金を使ってイベントを開催する。

「通いの場」とサロンとの連携



ちっちゃなコンサート



八王子空襲75年を語る



スマホ教室



新聞で手提げを作ろう

「通いの場」とサロンとの連携

【これまでの実施内容】

2020年

第1回「通いの場・かどっこ」・「八王子空襲75年を語る」

第2回「通いの場・かどっこ」・「今の家に住み続けたい」

相続について考えてみましょう！

第3回「通いの場・かどっこ」・「リンパケア」について

第4回「通いの場・かどっこ」・「チジミを作ってみよう。」

第5回「通いの場・かどっこ」・「小林先生X'masコンサート」

2021年

第6回「通いの場・かどっこ」開催「押し花・パウチ」

第7回「通いの場・かどっこ」開催「ミニ・コンサート」

2022年

第8回「通いの場・かどっこ」開催「とんとん昔お話とDVD」

第9回「通いの場・かどっこ」開催「ちっちゃなコンサート-秋の編」

2023年

第10回「通いの場・かどっこ」開催「新聞でおしゃれな手提げを作ろう」

第11回「通いの場・かどっこ」開催「スマホ教室」・6回開催

チャレンジ活動

チャレンジ活動は、地域の資源を活用して、創意工夫により、地域の課題の解決に向けた多様な活動を行うこと。

2020年から、この活動に参加したが、2023年は参加せず。

チャレンジ活動

2020・2021年

「絹一とその周辺再発見
探訪マップ」発行

2022年・2023年
実施せず。



課題

スタッフの高齢化

ボランティアの年齢分布

年齢	人	%
1. 60歳未満、	0	0%
2. 60～64歳、	2	6%
3. 65～69歳、	1	3%
4. 70～74歳、	3	9%
5. 75～79歳、	11	32%
6. 80～84歳、	12	35%
7. 85歳以上	5	15%

- 左表は、2023年8月、ボランティアにアンケート調査した結果である。(回答率81%)
- 60歳未満の若いボランティアがいない。
- 80歳以上が全体の50%を占めている。
- 75歳以上が全体の80%以上の高齢者集団となっている。
- 上記のような年齢では、負担のかかる暑い日の外でのお手伝いは無理で、お手伝いの内容が制限される。
- ⇒若い(60歳代以下)ボランティアの確保が必要。

課題

一部のボランティアに業務が集中してしまっている。

ボランティアの実施回数(14/1~24/3)

実施回数	人数		実施合計数	
	人	%	件数	%
201回以上	3	5%	855	54%
101~200回	0	0%	0	0%
51~100回	3	5%	193	12%
11~50回	20	32%	456	29%
6~10回	5	8%	37	2%
1~5回	22	35%	42	3%
0回	10	16%	0	0%
	63	100%	1,583	100%

○左表は、10年間にボランティアがお手伝いに携った件数です。(ボランティア数は退任者も含む)

○201回以上お手伝いを行ったボランティアは、**3人で全体の半分以上のお手伝い**を行っている。

○一方、1回も行っていないボランティアが**10人(16%)**いる。また、1~5回が**22人**おり、合わせて**5回以下のボランティアが全体の51%**で半分以上と多い。

課題

利用料金、手当が適正か

お手伝いの内容		条件	利用料金	手当
一般		1人・1時間	300円	200円
マイカーによる移動支援	自治会内	1人・1回	100円	200円
		2人以上・1回	100円/人	300円
	自治会外	一般の料金・手当に準ずる。		

○利用料金を1時間、500円(手当、400円)にする。

○マイカーによる移動支援の料金設定が一般と異なるのは問題。⇒30分以内枠(料金100円/手当250円=不足分はふれあいネットワークが補填)を新設し、自治会内移動支援をこれに当てはめる。

課題

「マイカーによる移動支援」のリスク管理が充分か？

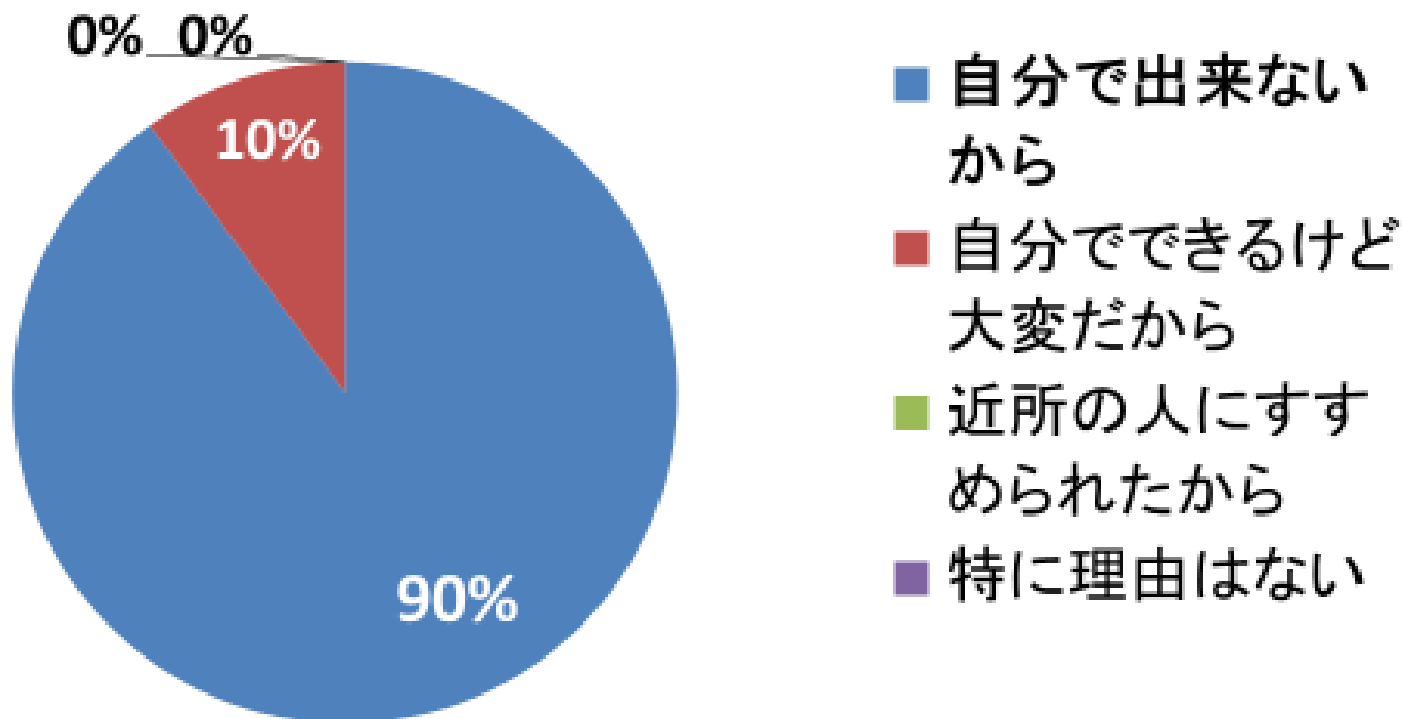


○「マイカーによる移動支援」は、生活支援が必要な方の移動が目的だが、その前提は、**安全**である。

運転者の技能維持、自動車のメンテ、移動距離・時間、運転時間帯、道路事情など**リスク管理**が重要。

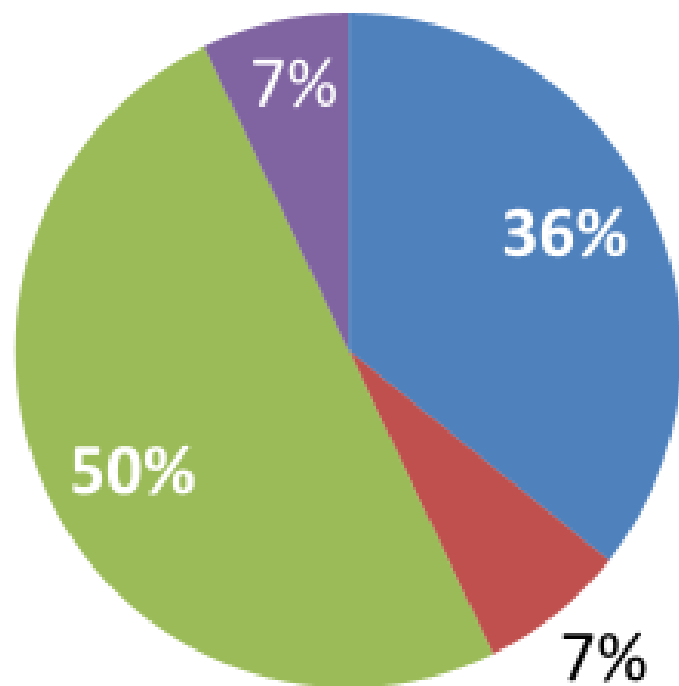
利用者の気持ちは？

利用する理由は何ですか？



利用者の気持ちは？

利用して気持ちは変わりましたか？



- 地域の人と話す機会ができて嬉しい
- 地域の人が活動する姿を見て自分も元気になる
- 身近に助けてくれる存在がいてくれて安心できる
- 特に変わらない

最後に



住民同士の助け合いが求められる時代です。
今日の話が、少しでも皆様のお役に立てれば、
ボランティア活動をしている者として、こんな
に嬉しいことはありません。
ご静聴ありがとうございました。